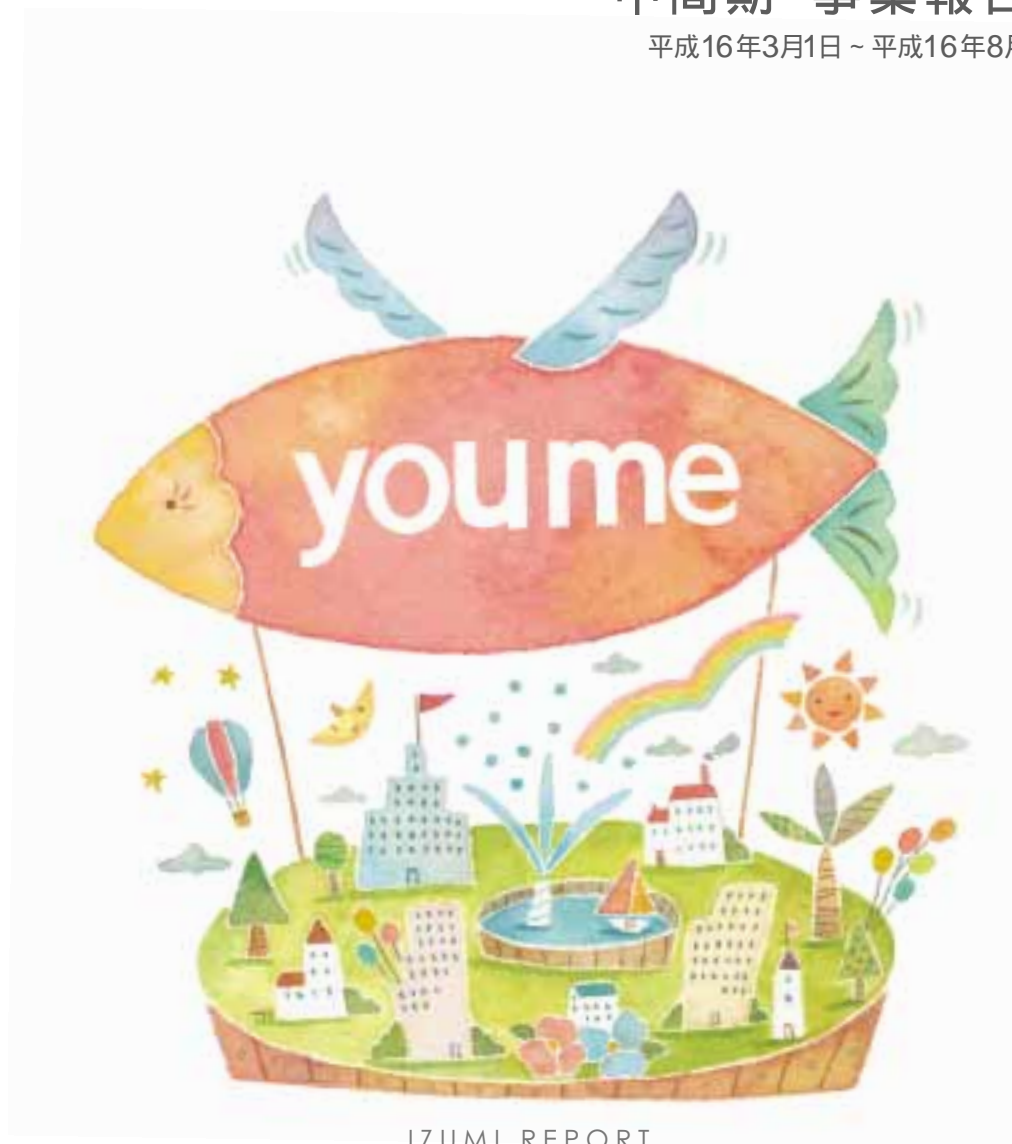


第44期  
中間期・事業報告書  
平成16年3月1日～平成16年8月31日



IZUMI REPORT

2004年中間期の業績について

## 地域のお客様のために 付加価値を高めてゆきます。



代表取締役社長 山西 泰明

当中間期は、景気は回復基調にあったものの、競合状況の一段の激化により、小売業界を取巻く環境は引き続き厳しいものとなりました。

このような状況のもと、当グループは引き続きお客様にご満足いただける売場作りを追及してまいりました。

特に、地域密着の品揃えや価格帯の見直しを進め、

近隣商圈における競争力の強化と来店客数の増加に努めました。

また、高付加価値商品の拡充に努めるとともに、

取扱いブランドの改廃や部門毎の拡縮を図りました。

連結子会社では、クレジット取扱高の増加に注力したカード事業会社(株)ゆめカードや

イズミ・グループ外へも受注を拡大しているビル・メンテナンス会社(株)イデオ、

(株)ニコニコ堂の店舗を継承した総合小売業(株)ゆめタウン熊本などが堅調に推移いたしました。

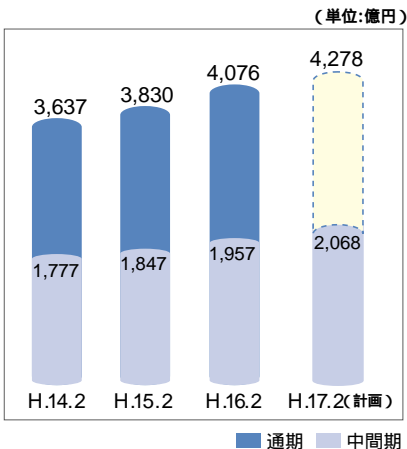
これらの結果、当中間期の業績は右記の通り連結中間決算開始以来4期連続で増収増益となりました。

下半期も店舗・商品・サービスの品質向上に努め、企業価値を増加させてまいります。

連結営業収益

2,068億円

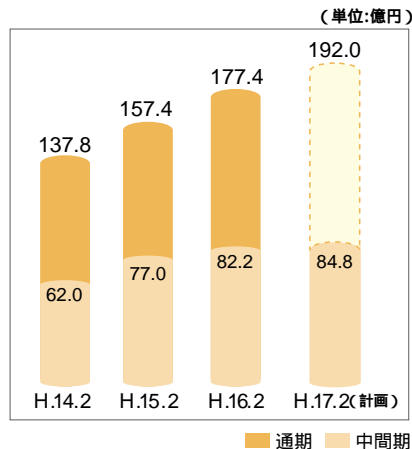
前期比  
5.7%増



連結経常利益

84.8億円

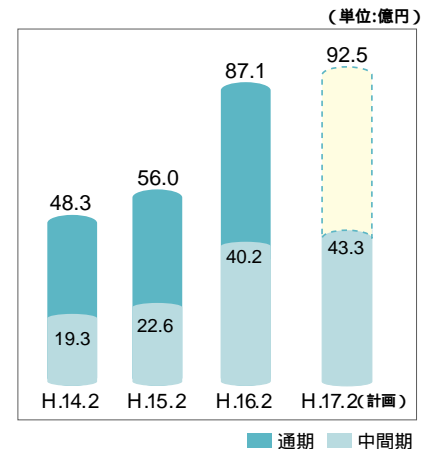
前期比  
3.2%増



連結当期純利益

43.3億円

前期比  
7.5%増



競争環境の激化により単体の既存店売上高は苦戦いたしました。昨年度の「ゆめタウン久留米」や当中間期の「ゆめタウン光の森」の新設、および子会社群の貢献により、中間決算では4期連続の増収増益となりました。また、中間1株当たり当期純利益は73円87銭となりました。なお、イズミ単体の中間配当金は11円50銭と据え置かせていただきます。

イズミの女性能力の活用が評価されました。

トピックス

## 均等推進企業表彰「厚生労働大臣優良賞」受賞!

厚生労働省では、女性労働者の能力発揮を促進するための積極的な取組(ポジティブ・アクション)を推進している企業を対象に、毎年「均等推進企業表彰」を実施しています。

イズミのこれまでの活動が評価され、この度「平成16年度均等推進企業 厚生労働大臣優良賞」として表彰されました。広島県内の企業としては初の受賞です。

### 主な受賞理由

顧客ニーズに的確に対応するために、実力主義の導入と女性の積極登用を経営者が明言し、具体的に推進している。

バイヤーの女性比率を高めるため、バイヤーライセンス制度を導入し、登用基準を明確化している。

女性店長の登用をめざし、実務経験が要求される食品部門への女性の配置を図っている。

女性管理職候補研修を充実し、エリア限定社員・パート・タイマーの登用を促進している。



## 地域の、よりよい未来へ。

人々の暮らしが生まれ変わり、活性化される・・・。

街づくり・夢づくりをテーマとするゆめタウンは、地域活性化の核となってゆきます。

周辺環境との調和、文化やアミューズメントなど様々な機能の集積、

利便性・快適性・開放感に富んだショッピング空間。

地域に密着し、地域に貢献するために、ゆめタウンは様々な試みを行っています。

### “驚きと感動”をキーワードに新たなゆめタウンがオープン

今年6月、新たに仲間入りした

#### 「ゆめタウン光の森」。

地域の皆様にご支持いただくため、  
従来以上にその機能を強化し、  
新たな試みを展開しています。

所在地 / 熊本県 菊地郡

敷地面積 / 48,500㎡、店舗面積 / 36,600㎡

駐車場台数 / 2,800台、テナント数 / 120店舗



### ① ワンストップ・サービス

欲しいもの・したいことが一ヶ所で全てかなう。

幅広い世代のお客様にこの利便性を提供するため、

ゆめタウンには、ファッションをはじめ、

アミューズメントや飲食、公共・金融施設など

様々な機能が盛り込まれています。

光の森店では、熊本初の高感度ファッション・テナントや

熊本一の規模となる大型専門店を導入。

地域一番の幅広い品揃えを提供しています。



海外有名ブランドの  
宝石・アクセサリー専門店



9スクリーンをもつシネマ・コンプレックス

30万冊が揃った地域一番の品揃え



## 2 地域密着

you  
me

各店舗毎にその地域の特性にあった品揃えを展開するゆめタウン。  
 生鮮食品では、生産者の顔が見える野菜・精肉、新鮮な近海もの中心の  
 鮮魚など、地元ならではの味覚を重視。  
 また、地場商品の発掘に努め、地元食材を取り揃えた  
 「地産地消」フェアを開催しています。  
 さらに、地域との交流を深めるため小学校や地域団体等の  
 店舗見学の機会をもち、様々な取組みをご紹介しつつ、  
 頂戴したご意見を店作りに反映しています。



熊本で生まれ、親まれた味を  
 熊本の産地からお届け



## 3 容易なアクセス

you  
me

規模の面でも地域一番のゆめタウン。そこへのアクセスを容易にするため、ゆめタウンは十分な駐車場や  
 アクセスポイントの整備、公共交通機関との連携に意を尽くしています。  
 県下最大のベッドタウン「光の森」の中核商業施設として、光の森店は  
 隣接する国道とオーバークリッジで直結、左右両車線からの進入がスムーズに出来るほか、  
 JR新駅も完成予定で広域からのご来店が期待されます。  
 また、新たな人の流れが既存商店街へも広がって、街全体の回遊性が向上するよう、巡回バスを運行しています。



2つのルートを  
 40分間隔で運行

## さらに、ゆめタウン呉がオープン

9月8日、港湾都市・呉にゆめタウンが誕生しました。  
 JR呉駅および呉港と自由通路で結ばれ、周辺には海事博物館などが整備さ  
 れるなど新生・呉の中心商業施設となりました。  
 多彩なテナントを導入しヤングマインドの地域一番店として、  
 地域の活性化に貢献してまいります。

所在地 / 広島県 呉市  
 敷地面積 / 20,800㎡、店舗面積 / 22,500㎡  
 駐車場台数 / 1,400台、テナント数 / 80店舗



4 人に環境に優しい店作り

you  
me

できることから一つずつ。ゆめタウンは地域と協力しあいリサイクル活動、包装資材の改善、買い物袋持参運動など、環境および資源保護活動に取り組んでいます。

また、ゆめタウンは快適にお買い物いただけるよう店舗施設の改善に努めており、光の森店では、全てのお客様が年齢や身体的ハンディキャップを意識することなく利用できるようユニバーサル・デザインを導入いたしました。

さらに、お買い物をお手伝いするエスコート係をはじめ、全社員によるきめ細かなサポート体制を確立しています。



エスコート係がお手伝い



人工肛門の方へも  
対応した多機能トイレ



足が疲れにくいカーペット貼り

トピックス

(株)マツモトキヨシと業務提携

ドラッグ部門強化のため、イズミは昨年度、業界最大手(株)マツモトキヨシと業務提携し、薬品や化粧品などの調達・情報交換を進めてゆくことといたしました。今年度より本格的取組みが開始され、モデル店舗となった光の森店では、直営ドラッグ売場にマツモトキヨシの競争力のある商品が展開されました。今後は、調剤薬局など新時代のドラッグ売場の構築にも取り組んでまいります。



イズミの“夢”に協力するグループ企業には様々な顔があります。  
今回は店舗の裏側で、安全や快適をしっかりとサポートする企業をご紹介します。



イデオは、1991年にイズミやゆめタウンの設備保守を行う専門会社として設立されました。その後、警備部門、清掃部門を新設し、お取引先はグループ内にとどまらず、集客施設や福祉施設、公共施設、マンション等へと広がるとともに、業務内容も建物全体の省エネコンサルティング、安全やセキュリティ提案等、総合的・多角的に広がってきました。

そこで2001年、社名を「イデオ」と改め、これまでのビルメンテナンス業にとらわれないお客様第一の発想による専門企業へと生まれ変わったのです。「イデオ」はエスペラント語で、「創造」や「提案」を意味する言葉。社名の精神そのままに、より創造的でより実質性の高い提案を心がけております。そして社員一人ひとりの人間力を基盤として、ビルや施設の省資源化・省エネルギー化を推進し、豊かでクリーンな社会づくりに貢献したいと願っています。

### ideo®ご提案 1 建物総合管理提案

多くの人が行き交う集合施設では、建物の設備管理だけでなく警備・保安、清掃、保守など多岐にわたる業務が発生します。私たちイデオの活動領域は、それらすべてを網羅し、効率的なトータル・ビルメンテナンス計画をご提案します。



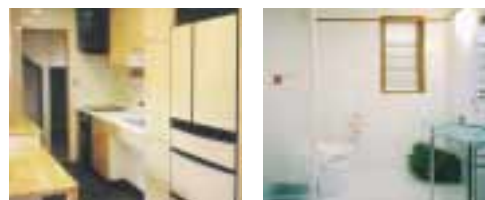
### ideo®ご提案 2 お客様ごとの省エネ・省資源提案

イデオは空調コストや電力コストの削減はもとより、冷凍機の効率化運転や自然水飲適システムなど、地球環境負荷を抑制し、エネルギーコストを大胆に削減するさまざまな提案をしています。



### ideo®ご提案 3 ビルのリフォーム・リニューアル

ビル内の遊休空間の活用提案から、設備移動や工事に伴う外装・内装リフォーム工事まで、だれもが快適に過ごせる空間づくりのお手伝いをしています。



## [ 連結 ] 決算

単位:百万円

	通 期			中 間 期	
	平成15年2月	平成16年2月	平成17年2月計画	平成15年8月	平成16年8月
営 業 収 益	383,098	407,647	427,800	195,768	206.833
前年比	105.3%	106.4%	104.9%	105.9%	105.7%
営 業 利 益	15,993	18,078	19,800	8,517	8,543
前年比	108.2%	113.0%	109.5%	107.6%	100.3%
経 常 利 益	15,741	17,742	19,200	8,221	8,484
前年比	114.2%	112.7%	108.2%	106.7%	103.2%
当 期 純 利 益	5,600	8,712	9,250	4,029	4,332
前年比	115.9%	155.6%	106.2%	178.2%	107.5%
1株当たり利益	95.23円	148.07円	157.72円	68.66円	73.87円
総 資 産	273,484	295,927	—	288,206	312,305
株 主 資 本	76,892	84,354	—	80,339	88,242
1株当たり株主資本	1,354.71円	1,437.82円	—	1,369.42円	1,504.61円
株主資本利益率	7.4%	10.8%	—	—	—
株主資本比率	28.1%	28.5%	—	27.9%	28.3%
連結子会社数	17社	17社	—	17社	18社

## [ 単体 ] 決算

単位:百万円

	通 期			中 間 期	
	平成15年2月	平成16年2月	平成17年2月計画	平成15年8月	平成16年8月
営 業 収 益	321,305	332,264	349,400	160,236	169,437
前年比	103.5%	103.4%	105.2%	101.6%	105.7%
営 業 利 益	13,340	13,245	14,400	6,570	6,497
前年比	112.8%	99.3%	108.7%	96.5%	98.9%
経 常 利 益	12,648	12,965	14,200	6,332	6,574
前年比	116.1%	102.5%	109.5%	101.3%	103.8%
当 期 純 利 益	5,621	7,097	7,650	3,479	3,482
前年比	148.3%	126.3%	107.8%	158.3%	100.1%
1株当たり利益	92.33円	117.80円	127.40円	57.93円	57.99円
総 資 産	218,473	230,509	—	226,571	248,844
株 主 資 本	77,334	83,277	—	80,302	86,316
1株当たり株主資本	1,287.34円	1,386.40円	—	1,337.20円	1,437.44円
株主資本利益率	7.4%	8.8%	—	—	—
1株当たり配当金	23.00円	23.00円	23.00円	11.50円	11.50円



## [ 連結 ] 貸借対照表

単位:百万円

	当中間期 H16.8.31	前中間期 H15.8.31	前 期 H16.2.29		当中間期 H16.8.31	前中間期 H15.8.31	前 期 H16.2.29
<b>( 資産の部 )</b>				<b>( 負債の部 )</b>			
<b>流動資産</b>	65,725	57,261	58,467	<b>流動負債</b>	84,948	98,094	90,242
現金及び預金	15,318	10,885	10,184	支払手形及び買掛金	18,266	25,976	17,485
受取手形及び売掛金	7,351	7,117	6,915	短期借入金	21,278	20,448	20,981
たな卸資産	22,746	20,981	22,199	1年内返済予定の長期借入金	19,173	22,723	23,662
その他	21,166	18,972	19,953	1年内償還予定の社債	5,000	10,000	5,000
貸倒引当金	856	695	784	賞与引当金	1,782	1,791	1,317
<b>固定資産</b>	246,580	230,945	237,459	ポイント割引引当金	796	663	752
有形固定資産	210,130	191,922	199,812	その他	18,651	16,491	21,043
建物及び構築物	109,704	96,026	106,048	<b>固定負債</b>	133,732	105,070	116,006
土地	81,800	79,163	79,245	社債	—	5,000	5,000
建設仮勘定	6,068	5,818	2,583	転換社債型新株予約付社債	20,000	—	—
その他	12,558	10,914	11,935	長期借入金	85,713	76,216	84,642
無形固定資産	7,418	7,973	7,802	退職給付引当金	3,899	3,626	3,799
投資その他の資産	29,030	31,049	29,844	役員退職慰労引当金	834	804	823
投資有価証券	4,635	4,950	4,858	預り敷金及び保証金	21,596	18,268	20,137
差入敷金及び保証金	17,264	17,228	16,864	その他	1,688	1,155	1,603
その他	7,145	9,340	8,637	<b>負債合計</b>	218,680	203,165	206,248
貸倒引当金	15	469	516	(少数株主持分)			
				<b>少数株主持分</b>	5,382	4,701	5,324
				<b>( 資本の部 )</b>			
				資本金	19,613	19,613	19,613
				資本剰余金	22,315	22,315	22,315
				利益剰余金	49,439	41,830	45,822
				その他有価証券評価差額金	813	485	535
				為替換算調整勘定	2	3	2
				自己株式	3,935	3,901	3,930
				<b>資本合計</b>	88,242	80,339	84,354
<b>資産合計</b>	312,305	288,206	295,927	負債、少数株主持分及び資本合計	312,305	288,206	295,927

## COMMENT

## 資産・負債・資本の状況

## 資産

## 3,123億円(前期末比 163億円増加)

6月開店の光の森店や9月開店の呉店などの設備投資により、固定資産は91億円増加しました。また、新規資金調達による現預金の増加などにより流動資産は72億円増加しました。これらの結果、当中間期末の総資産は163億円増加し、3,123億円となりました。

## 負債

## 2,186億円(前期末比 124億円増加)

資金調達として転換社債型新株予約権付社債200億円を新規に発行した一方、普通社債の償還や長期借入金の返済があり、有利子負債は前期末比118億円増加し1,511億円となりました。この結果、当中間期末の負債は2,186億円(前期末比124億円増加)となりました。

## 資本

## 882億円(前期末比 38億円増加)

堅調な営業成績により利益剰余金が36億円増加しており、当中間期末の株主資本は882億円(前期末比38億円増加)となりました。なお、株主資本比率は28.3%(前期末比 0.2%)となっております。

## [ 連結 ] 損益計算書

単位:百万円

	当中間期 H16.3.1 ~ H16.8.31	前中間期 H15.3.1 ~ H15.8.31	前 期 H15.3.1 ~ H16.2.29
<b>営業収益</b>	206,833	195,768	407,647
売上高	200,340	190,256	395,917
売上原価	154,834	145,641	303,997
売上総利益	45,505	44,615	91,920
営業収入	6,493	5,512	11,729
営業総利益	51,999	50,127	103,649
販売費及び一般管理費	43,455	41,609	85,570
<b>営業利益</b>	8,543	8,517	18,078
営業外収益	1,065	995	2,012
受取利息及び配当金	124	141	253
仕入割引	220	221	471
その他	720	632	1,288
営業外費用	1,125	1,291	2,349
支払利息及び社債利息	874	936	1,838
その他	250	354	510
<b>経常利益</b>	8,484	8,221	17,742
特別利益	75	63	241
特別損失	536	349	1,094
固定資産売却・除却損	128	149	628
投資有価証券売却・評価額	31	65	65
その他	376	134	400
税金等調整前中間(当期)純利益	8,022	7,935	16,888
法人税,住民税及び事業税	3,459	3,389	7,368
法人税等調整額	71	68	254
少数株主利益	159	447	1,061
<b>中間(当期)純利益</b>	4,332	4,029	8,712

## COMMENT

## 連結損益の状況

## 営業収益

2,068億円(前年同期比 5.7%増)

単体の既存店売上高は前年比96.5%と苦戦いたしました。昨年10月開店の久留米店や今年6月開店の光の森店の寄与により単体の営業収益は前年同期比5.7%増加しました。さらに、連結子会社も増収を果たしており、連結営業収益は前年同期比5.7%増となりました。

## 経常利益

84.8億円(前年同期比 3.2%増)

大型店舗新設によるテナント売上高の構成比増加等により粗利益率が低下した一方、販管費比率の改善や金融費用の削減に努め、連結経常利益は前年同期比3.2%増となりました。

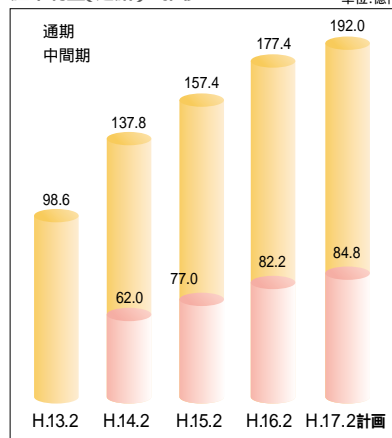
## 当期純利益

43.3億円(前年同期比 7.5%増)

特別損失は店舗閉鎖等により前年同期に比べ増加しましたが、持分比率の高い子会社の貢献により、当期純利益は7.5%増となりました。また、1株当たり利益は73.87円となりました。

## 経常利益(連結)の推移

単位:億円



## [ 連結 ] キャッシュフロー計算書

単位: 百万円

	当中間期 H16.3.1 - H16.8.31	前中間期 H15.3.1 - H15.8.31	前 期 H15.3.1 - H16.2.29
<b>1. 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前当期純利益	8,022	7,935	16,888
減価償却費	5,454	5,108	10,828
たな卸資産の増減額	546	45	1,263
仕入債務の増減額	781	11,332	2,840
法人税等の支払額	4,566	3,883	6,698
その他	2,225	1,798	6,645
<b>営業活動によるキャッシュ・フローA</b>	<b>11,370</b>	<b>22,246</b>	<b>29,240</b>
<b>2. 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の取得・売却	17,021	12,757	24,818
無形固定資産の取得・売却	279	5	511
その他	30	589	77
<b>投資活動によるキャッシュ・フローB</b>	<b>17,270</b>	<b>13,352</b>	<b>25,253</b>
<b>3. 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
長期借入金の実行・返済	3,418	4,032	13,398
社債・転換社債の発行・償還	14,954	5,000	10,000
配当金支払額	777	820	1,510
その他	274	4,389	3,860
<b>財務活動によるキャッシュ・フローC</b>	<b>11,034</b>	<b>6,176</b>	<b>1,972</b>
<b>4. 現金・現金同等物の換算差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>5. 現金・現金同等物の増減額</b>	<b>5,134</b>	<b>2,717</b>	<b>2,016</b>
<b>6. 現金・現金同等物の期首残高</b>	<b>10,184</b>	<b>8,168</b>	<b>8,168</b>
<b>7. 現金・現金同等物の期末残高</b>	<b>15,318</b>	<b>10,885</b>	<b>10,184</b>

## COMMENT

## キャッシュ・フローの状況

## A 営業活動によるキャッシュ・フロー

会社の本業である営業活動によってどれだけの資金を獲得したかを表したものです。

前年同期に比べ108億円減少し、113億円となりました。これは税金等調整前中間純利益が増加した一方、仕入債務の増減額が、前中間期末は銀行休業日であったため未決済額が大幅に増加しており、前年同期比105億円減少したことに由来しています。

## B 投資活動によるキャッシュ・フロー

店舗新設等の設備投資や有価証券投資など期中の投資活動による資金の増減を表したものです。

当中間期は光の森店、呉店への設備投資により、前年同期に比べ39億円増加し、172億円の支出となりました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの差額は59億円の支出超過となりました。

## C 財務活動によるキャッシュ・フロー

営業活動および投資活動を維持するためにどれだけの資金を調達あるいは返済したかを表したものです。

普通社債の償還や長期借入金の返済の一方、転換社債型新株予約権付社債200億円の発行等により、110億円の増加となりました。

なお、現金及び現金同等物の残高は51億円増加しております。

## [ 単体 ] 貸借対照表

単位:百万円

	当中間期 H16.8.31	前中間期 H15.8.31	前期 H16.2.29		当中間期 H16.8.31	前中間期 H15.8.31	前期 H16.2.29
<b>( 資産の部 )</b>				<b>( 負債の部 )</b>			
<b>流動資産</b>	40,701	30,630	31,071	<b>流動負債</b>	54,787	67,346	53,336
現金及び預金	10,477	4,737	3,884	買掛金	15,213	22,468	13,972
売掛金	2,647	2,693	2,626	短期借入金	15,421	18,914	15,837
たな卸資産	12,574	12,001	12,936	1年内償還予定の社債	5,000	10,000	5,000
繰延税金資産	1,347	1,210	1,250	未払法人税等	2,593	2,688	3,568
その他	13,720	10,046	10,433	賞与引当金	1,608	1,637	1,174
貸倒引当金	66	58	59	ポイント割引引当金	720	625	688
<b>固定資産</b>	208,143	195,941	199,438	その他	14,229	11,012	13,095
有形固定資産	171,597	156,674	161,662	<b>固定負債</b>	107,741	78,923	93,895
建物	86,054	74,671	82,363	社債	—	5,000	5,000
土地	65,446	62,807	62,891	転換社債型新株予約権付社債	20,000	—	—
建設仮勘定	6,027	5,717	2,559	長期借入金	66,237	56,665	69,282
その他	14,069	13,478	13,848	退職給付引当金	3,450	3,230	3,381
無形固定資産	6,492	7,032	6,845	役員退職慰労引当金	779	757	773
投資その他の資産	30,053	32,233	30,929	預り敷金及び保証金	16,885	13,219	15,151
投資有価証券	5,995	6,236	6,052	その他	386	51	306
差入敷金及び保証金	19,951	20,170	19,720	<b>負債合計</b>	162,528	146,269	147,232
繰延税金資産	1,176	1,495	1,567	<b>( 資本の部 )</b>			
その他	2,945	4,799	4,105	資本金	19,613	19,613	19,613
貸倒引当金	15	468	516	資本剰余金	22,282	22,282	22,282
				利益剰余金	45,982	40,285	43,213
				その他有価証券評価差額金	810	485	535
				自己株式	2,372	2,364	2,366
				<b>資本合計</b>	86,316	80,302	83,277
<b>資産合計</b>	248,844	226,571	230,509	<b>負債及び資本合計</b>	248,844	226,571	230,509

## COMMENT

## 新規出店と閉店

期末店舗数	70店舗
新設	1店舗
閉店	1店舗

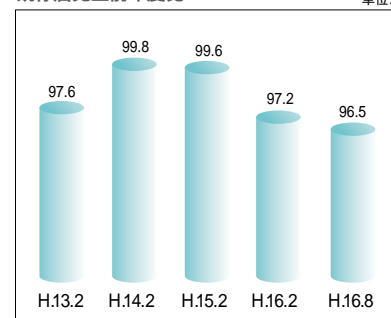
## COMMENT

## 既存店売上高前年比

既存店売上前年比	96.5%
- 客数前年比	101.8%
- 客単価前年比	95.8%

## 既存店売上前年度比

単位:%



## [ 単体 ] 損益計算書

単位:百万円

	当中間期 H16.3.1～H16.8.31	前中間期 H15.3.1～H15.8.31	前 期 H15.3.1～H16.2.29
<b>営業収益</b>	169,437	160,236	332,264
売上高	162,877	154,673	320,494
売上原価	126,626	119,209	247,898
売上総利益	36,250	35,464	72,596
営業収入	6,560	5,563	11,769
営業総利益	42,810	41,027	84,365
販売費及び一般管理費	36,313	34,456	71,119
<b>営業利益</b>	6,497	6,570	13,245
営業外収益	875	710	1,439
営業外費用	799	948	1,720
<b>経常利益</b>	6,574	6,332	12,965
特別利益	81	3	210
特別損失	435	201	602
<b>税引前中間(当期)純利益</b>	6,220	6,135	12,573
法人税、住民税及び事業税	2,630	2,702	5,651
法人税等調整額	107	46	174
<b>中間(当期)純利益</b>	3,482	3,479	7,097
前期繰越利益	1,374	1,361	1,361
中間配当額	—	—	690
中間(当期)未処分利益	4,856	4,840	7,767

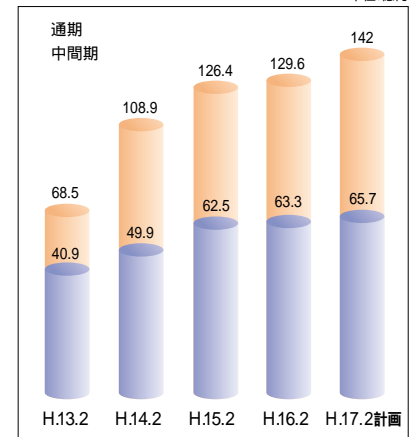
## COMMENT

## 1株当たり配当金

当中間期	11.50円
前中間期	11.50円
前期	23.00円

## 経常利益(単体)の推移

単位:億円



## 会社概要 (平成16年8月31日現在)

設立年月日	昭和36年10月27日
本社所在地	広島市南区京橋町2番22号 TEL 082-264-3211(代)
資本金	19,613,856,196円
従業員	正社員 2,095名 パートタイマー 4,274名(1日8時間換算)
店舗数	70店
	<b>中国地方</b> 55店
	広島県 28店 岡山県 12店 山口県 10店 島根県 5店
	<b>九州地方</b> 13店
	福岡県 9店 佐賀県 1店 大分県 1店 長崎県 1店 熊本県 1店
	<b>その他</b> 2店
	香川県 1店 兵庫県 1店

## 役員一覧 (平成16年8月31日現在)

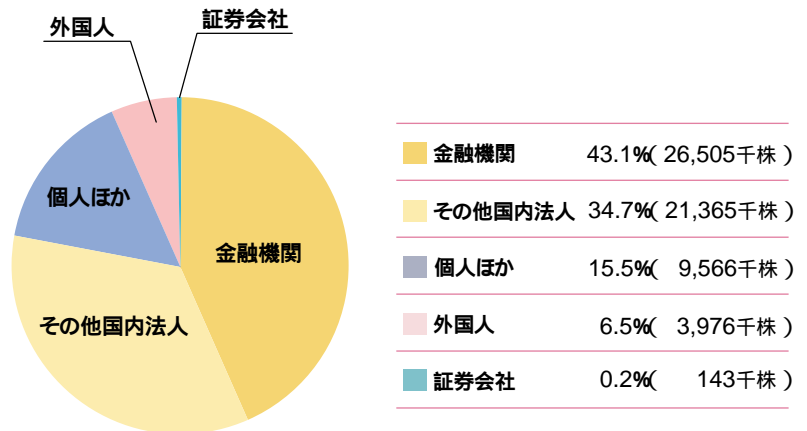
取締役会長	山西 義政
代表取締役社長	山西 泰明
代表取締役副社長	高西 宏昌
取締役	東光 弘
取締役	板東 博明
取締役	夏原 平次郎
常勤監査役	津村 昭
監査役	滝本 豊水
監査役	松原 治郎
監査役	通堂 泰幸

(注)東光 弘は平成16年8月31日付で退任。

## 株式の状況 (平成16年8月31日現在)

会社が発行する株式の総数	195,243,000株
発行済株式の総数	61,558,710株
株主数	3,955名
1単元の株式数	100株

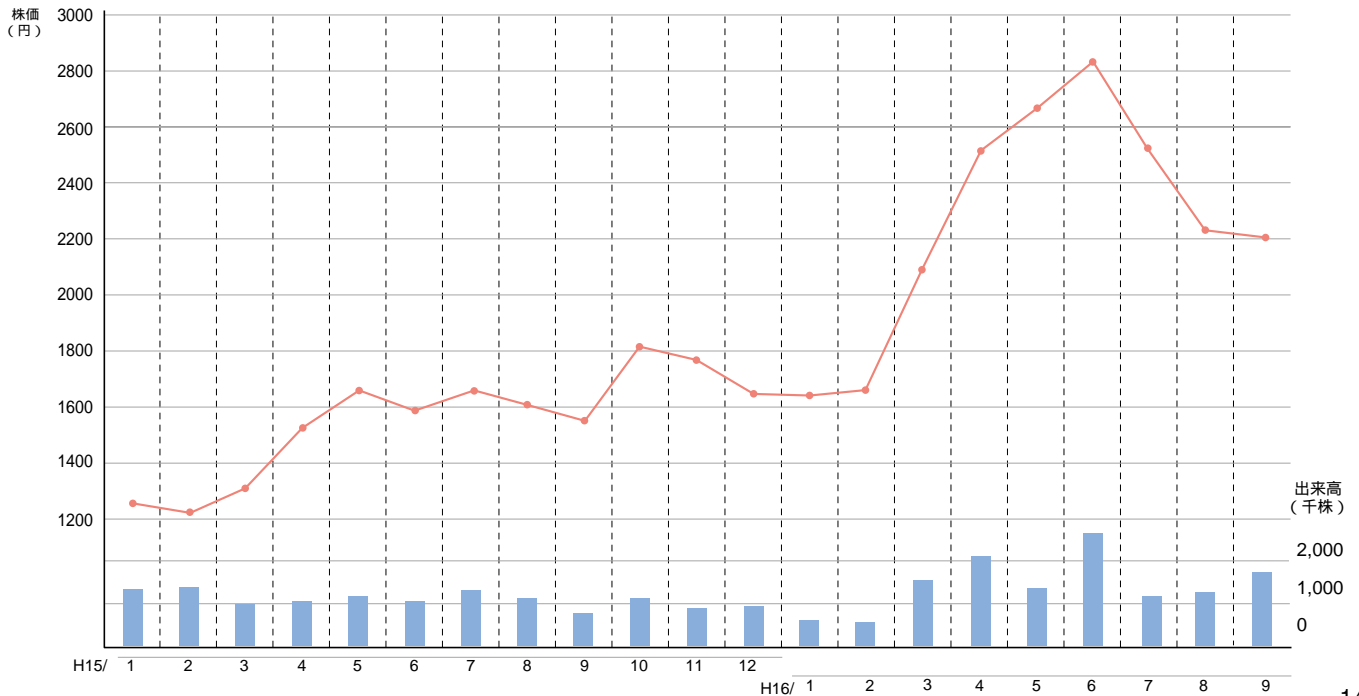
### 株式の分布状況



## 大株主の状況

	株式数	持株比率
(有)泉屋	4,793千株	7.79%
山西ワールド(有)	3,871千株	6.29%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	3,083千株	5.01%
(株)広島銀行	2,884千株	4.69%
(株)あおぞら銀行	2,808千株	4.56%
(株)新生銀行	2,807千株	4.56%
日本生命保険(相)	2,607千株	4.24%
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	2,320千株	3.77%
(株)泉不動産	2,217千株	3.60%
山西 義政	2,213千株	3.60%
10社合計	29,607千株	48.10%

## 株価の推移



## 株主メモ

決算期	2月末日(年1回)
定時株主総会	5月下旬
利益配当金受領株主確定日	2月末日
中間配当金受領株主確定日	8月31日
公告掲載紙	日本経済新聞に掲載する。ただし、商法特例法第16条第3項に定める貸借対照表および損益計算書に係る情報は <a href="http://www.izumi.co.jp/ir/kessan_koukoku">http://www.izumi.co.jp/ir/kessan_koukoku</a> において提供する。
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 大阪証券取引所市場第一部
名義書換代理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
[郵便物送付先]	〒183-8701 東京都府中市日綱町1番10号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
[電話照会先]	[住所変更等用紙のご請求] ☎ 0120-175-417 [その他のご照会] ☎ 0120-176-417
同取次所	住友信託銀行株式会社 全国各支店

### 株主優待制度の概要

毎年2月末日および8月31日現在、当社株式100株以上ご所有の株主の皆様に対して、ご所有株式数に応じて次の通り「株主ご優待券」をお贈りいたします。

ご所有株式数	一回当たり贈呈額
100株以上	200円券 × 5枚 = 1,000円の優待券
500株以上	200円券 × 25枚 = 5,000円の優待券
1,000株以上	200円券 × 50枚 = 10,000円の優待券
2,000株以上	200円券 × 100枚 = 20,000円の優待券
3,000株以上	200円券 × 150枚 = 30,000円の優待券
4,000株以上	200円券 × 200枚 = 40,000円の優待券
5,000株以上	200円券 × 250枚 = 50,000円の優待券

(注) ¥2,000円以上お買上げにつき、2,000円ごとに各1枚(200円券)をご使用できます。

### 泉美術館ご招待券の贈呈

平成16年8月31日現在で当社株式を1単元以上ご所有の株主の皆様は「泉美術館ご招待券」をお贈りさせていただきます。